



主権)が二十八日、静岡市駿河区の久能山東照宮で行われた。
 同市葵区井川のお茶蔵で五月から熟成させた本山(ほんやま)茶を蔵出しし、市中心街でお茶壺道中を披露しながら、家康公をまつる久能山東照

久能山東照宮

同委員会の属する静岡白山茶研究会は、一日開幕の「世界お茶まつり2007」で熟成本山茶を呈茶。森山幸男会長は「熟成茶は山のお茶のおいしさが凝縮され、今年はお来も良い。例年以上に楽しんで」と話した。



野守の池など自然あふれる川根路を歩く参加者
 川根町

り込まれ、霧囲気となどの雄した。
 町民文化21には同茶を、同が豚汁を

準優勝

の両日、徳島県で本県選抜チームが出場し、

07年10月29日朝刊

四十二都府県のチームが出場し、五人による団体戦。本県は予選全勝し、決勝トトでは奈良、神戸でも四一でが、決勝で大阪で惜敗した。
 本県選手団は、監督安川敏夫さん(浜松市

と、安藤友和さん(焼津)、鈴木茜さん(静岡市出身)、斉藤金洋さん(富士市出身)、磯野あ野村拓輝さん(沼津市出身)と、藤田信身(同)、藤田信身(同)、三井行さん(浜松市)、三井憲昭さん(富士市出身)、野村拓輝さん(沼津市出身)に勝したほか、十七年に位置になった。

中国語の声調 丁寧に 静岡 中高生がスピーチコンテスト



中国語を披露する参加者
 静岡市葵区黒金町の静岡商工会議所会館

県中高生中国語スピーチコンテストを静岡市葵区黒金町の静岡商工会議所会館で開いた。県内から中高生十一人が参加した。

奨学金などで学生を支援する鎌倉フェローシップ(鎌倉年理事長)は二十八日、「第一回静岡

扱授業などで中国語を勉強し始め、学習歴は半年程度の生徒ばかり。それでも、日本語にはない声調も丁寧に発音して学習の成果を披露した。

高校生の部で一位となつた高田李紗さん(沼津市立高三年)は「ホテルマンになりたくて勉強し始めた。何回も発音して覚えています」と話した。

商業 高校生が 英語スピーチ競う

県内の商業高校に通う生徒が出場し、英語表現競う「全商英語スピー



第24回全商英語スピーチコンテスト静岡県大会

コンテスト県予選」が十八日、島田市地域交センター「歩歩路」でわられた。
 指定された文章を暗唱する「レと、自作る「スピに二十人葉大外国